

教 科	芸術	科 目	音楽Ⅰ
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・全クラス（選択）
使用教科書	MOUSA 1（教育芸術社）		
補助教材等	なし		

1 学習目標

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

2 学習方法

- 音楽Ⅰでは、様々な音楽活動を通して、音楽への関心を深める。
- 器楽の学習を通して楽譜を読む力を付け、表現の創意工夫をする。
- また作曲を学習することにより、音楽の構成を理解し、作曲の楽しさを体験する
- 鑑賞では、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏の解釈をしたりして、音楽に対する理解を深める。

3 学習評価

(1) 評価の観点と方法

観点 \ 評価	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	創意工夫を生かした表現、創作、鑑賞をするために必要な知識を身に付けている。	○学習状況の把握 ○音楽活動への取り組み状況
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。	○実技の内容 ○作品、鑑賞
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現や鑑賞活動に取り組もうとしている。	○実技の内容 ○作品、鑑賞

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、主に実技テストや鑑賞のプリントの評価になりますが、出席状況、授業態度、課題の提出状況とその内容などを総合的に行います。学年末の評価は1～3学期の評価の平均となります。

4 学習のポイント

- 授業には積極的に参加しましょう。
- 毎回の授業で習得した技術を家庭で復習し、その状態を維持して次回の授業に臨めるようにしましょう。
- 聴いて曲を覚えて演奏するだけでなく、楽譜を見て演奏する習慣を身に付けましょう。
- 音楽の理論を理解して幅広く音楽を楽しむ力を付けましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	豊かな声でハーモニーを楽しもう	・発声の基礎を学びよい響きの声で歌い、よく調和する響きをつくる。
5	ギターを弾こう 1	・ギターの基礎を学ぶ。 ・ギターでコードを弾き、伴奏法をする。 ・ギターで簡単なメロディが演奏できる。
6	曲の良さや美しさを探ろう	・オーケストラの曲を聴いて、音色の多様性を感じ取る。
7	日本の民謡を聴こう 歌舞伎舞踊の音楽の特徴を感じ取ろう	・使われている音階の違いに気付く。 ・歌舞伎舞踊と長唄に親しむ。
8	イタリア語とイタリアの歌曲を歌ってみよう	・イタリア語の発音に親しみ、それぞれの言語の特徴を理解してイタリア語の表現を理解して歌う。
9		
10	ギターアンサンブルを楽しもう	・メロディと伴奏に分かれてアンサンブルに親しむ。
11	身近な物を使ったアンサンブルを楽しもう	・身近な物を使ったアンサンブルをグループで工夫して創作する。
12	ピアノの華やかな響きを感じ取ろう	・ピアノの持つ表現の可能性をショパンがどのように工夫して引き出しているか理解する。
1	表現を工夫して合唱をしよう	・表現を工夫して合唱曲を歌う。
2	民族音楽を楽器と声の視点から聴こう	・諸民族の音楽を器楽を器楽と声楽の視点から鑑賞する。同時に地域の特徴や楽器の仕組みを理解する。
3	作曲家の生涯と作品をたどろう	・作曲家の生涯と関連する楽曲を鑑賞する。